

カレント 2003 年 6 月号

PRESSTEK DI は良い時期に、良い技術を提供してくれている

ロットが短くなり、多色化が盛んになる傾向のもと、PRESSTEK の DI®技術は今日の印刷市場の必然の地位を確立してきている。

20 世紀の従来のオフセット機は足の長い仕事でそのコストを押さえるように設計されていた。重装備の製版室でアルミ版を製版、焼きつけして、それを機械に取り付け、見当合わせし、色出し、水決めを機上で行っていた。

近年、通し数が減少してきているので、この生産方法では余りにも高つく。DI 技術は高価な製版工程、版付け、見当合わせ、水決めをなくし、刷り出し前準備の段階から印刷技術を改革してくれている。広告主がますます絞ったマーケティングを行うので小ロットとなり、DI 印刷固有の工程短縮がますます、利を生む結果となる。DI 印刷が最初に、GTO DI として登場したとき、人々は Presstek の PearlDry 版が機上で焼かれている無駄時間を嘲り笑っていた。しかし、今日では、その議論は印刷界にもたらした大変革のお陰で論外となっている。



Presstek の機上 DI 技術は上の Karat74、Adast、ハイデルベルグ、リヨービ、桜井、さらに登場しよう機械にまで装備されている。

小ロット 21 世紀指向とは、前準備がすばやくできる DI オフセット機の経済性である。DI 機では機上の版を化学処理などを施さずに作れる。CTP セッターを導入し、化学処理現像ラインを入れたものと比較しよう。小～中ロット、100～30,000 通しでは決して安くはできない。従来オフセット機で迅速前準備をはかるには、機能向上、追加価格が必要で、全般操作は従来のまま踏襲されてしまう。他方、DI 機はその消耗品が版材ロールとインキだけであり、環境廃棄上も良いものとなっている。広く言われているように、より小ロット化する傾向にあり、小ロットでのコスト削減と利益性向上により、DI 印刷業者がより競争力をつけてこよう。これは従来オフセット機と CTP に依存する印刷業者にとって良いニュースではない。

プレステックは最近、「通常機と DI オフセット機の現実の経済性」なる白書を出版した。この出版物では DI 機の経済的優位性を示している。DI 機と CTP 版従来機の版材・消耗品のコスト比較では DI 印刷業者は仕上り版 1 版につき 60% 近く節約している。

さらに、水なし印刷の固有の利点、良く知られている迅速前準備が加わり、Presstek の DI 技術は、良い時期に良いソリューションを提示してくれている。興味のある方は、白書「通常機と DI オフセット機の現実の経済性」を無料で手に入れられる。

marketing@presstek.com に連絡されたい。白書はオフセット印刷の使命変化、経済性変化を検証していて、DI 機と従来オフセット機との間の経済性の差異につき触れている。白書は効果的な機械の選定、21 世紀の利益をもたらす、競争力のある、兆期成長の図れる印刷生産戦略まで網羅している。

Presstek は米国の 2 ページ(A3)、4 ページ(A2)の CTP 市場でリード

Presstek の地位がダイレクト・デジタル・イメージングの第一人者と強調されるように、State Street Consultants, Inc(SSCI)の市場調査の結果では小企業商業印刷者向け A3、A4 の CTP セッター分野で Presstek は第一位を占めた。

調査は 2003 年 4 月のものだが、Presstek は A3・金属板 C T P 分野で最高成長をしているメーカーである。さらに、Presstek は A2・CTP 分野でも北米市場全般の 2 倍のペースで成長している。2002 年・第 4 四半期から 2003 年第 1 四半期までの全メーカーの A2・CTP セッターの平均伸び率は 8% であるが、Presstek の A2 金属版・CTP セッターの伸び率は同期間で 16% となっている。

SSCI によると、この統計は North American Market Scanning Service、市場データ報告の基礎からとられ、年間シェアの変化、購買のパターン、一般傾向などの洞察力をきかせたものとなっている。

State Street Consultants 社・社長 John P. Windle は説明する。「金属 CTP 市場全般で 03 年第一四半期の設置台数は 02 年第一四半期に対し、約 20% アップしているが、ある分野では他の分野に比べ早い成長をしてくれている。50 人以下の中小印刷業者への設置は 66% も増加し、その一方、50 人以上の印刷会社では 9% 増加したに過ぎない。同時に、A3・A2 サイズの重要性が著しく増し、金属 CTP 装置の約 30% を占めるようになった。市場はプレステックの強さに向かっている、と言えよう。」Windle はさらに続ける。「金属 CTP 市場での我々の最近の市場データ報告では Presstek のランクは首尾一貫している。Presstek は中小商業印刷業者分野ではトップ・ベンダーに位置し、20 人以下の小企業商業印刷業者の A3・A2 サイズ CTP では第一人者となっている。」Presstek 社 Off-Press 営業の David Ventola によると、「この数字により、Presstek は正しい CTP ソリューション、中小印刷業者にとってより生産性が高く、より利益性のあるソリューションを提供して行く我々の信念が確認されたと言えよう。我々のイメージング、サーマル製品は...化学処理不要操作、コンパクト、簡便性...と言う小企業商業印刷業者の要望に合致しているのだ。



アーサー・レフェーレは国際金属装飾協会
会で水なし印刷のプレゼンを行った。



右上の写真・正面は、男性のシャツを写真にしている水なし印刷の缶である。水なし印刷の質感溢れる高細線でデテールが描写され、80 線での左右の缶と比べると前に飛び出してくれている。

国際金属装飾業者に水なし印刷を紹介

WPA 専務理事・アーサー・レフェーレは数百人のツー・ピース金属缶印刷業者に、5月15日、シカゴ郊外での年次総会で水なし印刷を紹介した。金属缶印刷業者にとって水なし印刷は比較的細かいスクリーン線数で印刷できる可能性があり、大変重く見ている。その典型的な線数は80線以下となっている。

WPA のスポンサーメンバー、Sequa Can Machinery はやや押え気味の150線の印刷ができる水なし APS 缶印刷システムを紹介している。ほとんどの水なし印刷業者にとっては、この線数は遠慮したものであるが、缶印刷業者にとって80線から150線に高められるのは大変な利点となる。長年、金属缶印刷業者は水なし印刷と戯れていたが、品質と安定性の保持に困難を感じていた。Sequa 社の優れた APS 温度コントロール装置のお陰でこの問題解決の助けとなろう。

日本旅行は7月末にセット

東レ株式会社の新工場の準備が整ってくれば、7月28日から8月5日の間にその工場の始動式に出席する。この間、6~7社の日本 WPA 会員企業を訪問する。1993年我協会が設立されて以来始めて、日本の印刷業者の訪問の機会をえるのだ。この訪問の調整をしてくれる日本 WPA の事務局長・五百旗頭忠男氏に先に感謝を申し上げたい。

文星閣は ISO14001 を取得

WPA 会員は ISO14001 の取得に向けて前進を図ってくれているが、今月は、東京都大田区の文星閣が印刷ネット EMS で ISO14001 を取得された。奥継雄社長とそれをこなした社員の皆様方に祝福を申し上げたい。

Microsoft に一体、何が？

Microsoft のパブリッシャー・ソフトが Quark Xpress、In-Design そして Pagemaker のランクへ加わることに動揺している。と言うのは、このソフト巨人はクレオ社の自動トラッピング技術を認可したと声明している。

クレオ社によって開発された自動トラッピング技術はカラー印刷での分版見当のエラーを排除するエキスパート・システムである。この技術はクレオ社の特許で米国、世界中で保護されている。

Presstek は Club DI の正体を現す：DI 顧客にマーケティング・プログラム

Presstek 社は Club DI の内容を発表した。多面で、包括的なマーケティング・プログラムで DI 顧客の支えとなり、そのマーケティングと営業の手助けになることを目指している。「Club DI を打ち上げることにより、ある時期に適宜、特別のマーケティング支援処理が正式に行え、価値をつけたマーケティング支援のパッケージを対外的に提供し得るのだ。」と、Presstek 社の On-Press 国際営業役員、Stan Najmr が言う。「それは、DI 顧客から共通して求められる支援の提供や、さらに、新しい、素晴らしいツールやプレート類の紹介、これらは顧客が新しいビジネスの獲得をたやすくしてくれるものなのだ。」 DI Club を通して Presstek は、DI 顧客の営業、マーケティング努力の支援になる、プロのデザイン素材提供、さらに、DI 機の新設設置の公表、オープンハウスの世話、ダイレクトメールの打ち上げ、店内プロ・モーション下げ札・ポスター・サンプル見本印刷などの DI の持てる能力のマーケティングなどを行う。

Club DI についての詳しい情報はwww.DIdirectory.com/ClubDIにアクセスされたい。

できごと

カレント今月号では WPA の商標登録バタフライマークに関する新しいデザインテーマを取り上げる。申し訳ないことをしたが、5月号で Printgraph Group の新しい水なし印刷ショールームがミラノに開設されたことを書き漏らした。水なし専用印刷機をデモンストレーションと特別の商業印刷用途のために設置した。同社の Roberto Levi Acobas にこのイベントの成功を祝福したい。

今月は次の日本からの新メンバーを歓迎する。東京都港区・文祥堂印刷株式会社、社長・松重精氏(更新)。滋賀県竜王町・株式会社アインズ、社長・宮尾英昭氏。千葉県市川市・三菱電機ドキュメンテクス・菅原 潔氏。(訳 T.I)